

会 議 録

会議の名称	西東京市子育て支援計画策定委員会（第14回）
開催日時	平成15年11月27日（木） 午前10時から正午まで
開催場所	田無イングリル3階 第3会議室
出席者	（委員）森田委員長、有澤副委員長、安藤委員、出川委員、古荘委員、本間委員 （欠席）片山委員、川又委員、田口委員、武田委員 （事務局）牧野部長、富田課長、田島 （コンサルタント）高屋、山領 （傍聴者）10名
議 題	（1）会議録の承認について （2）子育て支援計画(案)のパブリックコメント(市民意見提出手続き)の結果について （3）(仮称)こどもの総合支援センター構想に対する意見募集の結果について （4）子育て支援計画の策定 （5）その他
会議資料	1 資料 西東京市子育て支援計画（案）パブリックコメントの結果 2 資料 （仮称）こどもの総合支援センター構想に対する意見募集の結果 3 資料 西東京市子育て支援計画（案） 4 資料 （仮称）こどもの総合支援センター構想（案）に対する意見募集用記事のコピー（市報 平成15年11月15日号より）
会議内容	発言者の発言内容ごとの要点記録

発言者名	発言内容
事務局 (富田)	本日は最終回の委員会である。
	議題1 会議録の承認について
森田委員長	事前送付した前回委員会の会議録に対し、修正の意見がなかったため、前回委員会の会議録をそのまま承認することとしたい。
	議題2 子育て支援計画(案)のパブリックコメント(市民意見提出手続き)の結果について
森田委員長	子育て支援計画(案)のパブリックコメントで寄せられた市民の皆さんのご意見は、各委員に事前送付した。市民の皆さんからお寄せいただいたご意見に対する市の検討結果が資料 にまとめられている。本日はこの資料を見ながら各委員のご意見をいただきたい。
	児童館の再編成について
安藤委員	児童館については、指導者や職員の配置の問題、中学校区に1つ設置することへの疑問、交通の便の向上や駐車場整備に関する意見が多かった。
森田委員長	児童館への交通の便の向上については、はなバスの停留所を見直す必要があると感じている。
	子どもの権利条例、子どもオンブズパーソン制度、虐待防止ネットワークについて
委員全員	- 意見なし -
	不登校、いじめ、犯罪に巻き込まれないための対策について
森田委員長	引きこもりの子どもの対応、不登校の子どもとその親のための相談窓口の開設、学校復帰を目的としない不登校児の居場所づくり、少年犯罪対策等のご意見があった。

発言者名	発言内容
有澤副委員長	不登校の子どもの対応については、既存の機能の活用が大切である。さまざまな取り組みの浸透が不十分で、理解されていないことが多いと感じる。
	プレイリーダーの育成、プレイパークの設置について
森田委員長	プレイパークの検討を進めてほしい、プレイリーダーの育成が大切である等のご意見をいただいた。
委員全員	- 意見なし -
	「遊びの学校」事業について
森田委員長	ぜひ推進してほしい、小学校4年生以上の障害児の対応はどのようにするのか、他の団体による活動が阻害されないことを望むといったご意見をいただいた。 他の団体の活動との調整は可能だと思う。
安藤委員	「遊びの学校」事業は主要事業の1つであり、この事業がうまくいくことにより、他の施策もうまくいくということがあると思う。
	中高生対象の施策について
森田委員長	16歳から18歳を対象にした施策がほとんど見受けられない、「自習室事業」を高校生にも実施してほしい等のご意見をいただいた。 市による学校開放事業は中学校までであり、そこに高校生を入れることは難しいであろう。「機能特化型児童館」の設置が有効な解決策であると考えている。また、高校でも長期休暇等に学校開放が進んでいると聞いている。
有澤副委員長	中学校開放に高校生を入れるのは困難だと思う。高校生以上は、学校ではなく、地域で受け入れるほうがよいと思う。
森田委員長	「自習室事業」は中学生のみを対象とすることでよいか。
委員全員	- 意見なし -
	子どもへの情報提供について
森田委員長	学校でのコンピューターの利用環境の向上、相談ごとを書き込むことができるホームページの開設といったご意見があった。 現在の計画書案の施策で十分に対応できると思う。
	男女共同参画について
森田委員長	夕方、夜、週末も利用可能な活動場所を確保できるようにしてほしい、男性が育児休暇を取得しやすいような施策がほしいといったご意見があった。 理念としては、このような内容は次世代育成支援対策行動計画に盛り込まれているが、具体的なご意見については男女平等参画推進計画に提案しておく。
	子育てに関する学習機会について
委員全員	- 意見なし -
	ファミリー・サポート・センターについて
森田委員長	料金を下げてほしいというご意見があった。 計画書案の施策には、利用規則の改善を検討することを盛り込んでいるので、対応できていると思う。

発言者名	発言内容
	保育園について
森田委員長	待機児解消、一時保育受け入れの拡充、「食教育」の実施についてご意見があった。待機児解消を図ること、一時保育を拡充することについては、既に計画書の素案に盛り込まれている。
有澤副委員長	食教育は小学校で既に実施されている。
	子育てグループ活動について
委員全員	- 意見なし -
	子育て相談について
委員全員	- 意見なし -
	子育てに関する情報提供について
森田委員長	私立学校に通っている子どもの保護者への情報提供や、公共機関での情報提供の充実等についてご意見をいただいた。
有澤副委員長	私立学校に通っている子どもの保護者であっても、積極的に地域にでていけば、情報を得ることはできると思う。積極的に地域にでるという姿勢が必要である。
	(仮称)こどもの総合支援センターについて
森田委員長	場所や規模に関し、事業内容に応じた検討が必要である、交通の便に考慮してほしい、具体的な事業内容の検討に際は市民意見を取り入れてほしい等のご意見をいただいた。
古荘委員	(仮称)こどもの総合支援センターについては、パブリックコメントを行うと聞いていたが、そうではなかったのか。 子育て支援計画(案)のパブリックコメントで(仮称)こどもの総合支援センターに関する意見が3件と件数が少ないのは、(仮称)こどもの総合支援センターについては別途パブリックコメントを行うと聞いていたからである。
コンサルタント (高屋)	意見の件数はあまり重要ではないかもしれない。市の検討結果を公表する際には、件数は外してもいいのではないか。
事務局 (富田)	(仮称)こどもの総合支援センターについては、市が回答を行わない意見募集を行った。森田委員長が前回の委員会で述べたパブリックコメントというのは、「市民のご意見を集める」という広範囲の意味でのパブリックコメントであった。
古荘委員	(仮称)こどもの総合支援センターの機能を検討する際は、専門家や経験者を入れて議論してほしい。また、今回市民の皆さまからいただいた、(仮称)こどもの総合支援センター構想(案)に対する意見を無駄にしないほしい。
森田委員長	(仮称)こどもの総合支援センターの機能について検討する委員会を設置することを提案するとともに、今回いただいたご意見をその委員会にお渡しして議論の材料にさせていただくということによいか。
古荘委員	それでよい。
森田委員長	いただいたご意見の件数を掲載することについては、どうするか。

発言者名	発言内容
事務局 (富田課長)	ご意見の件数は掲載しない。
	地域子育て支援センターについて
森田委員長	利用者となる人への調査や、先行事例研究を行ってほしいというご意見があった。
	学童クラブについて
森田委員長	保育時間を延長してほしい、設備面やメンタル面での保育内容を充実してほしい、指導員を増員してほしい、学童クラブ職員を継続雇用してほしい、午前中開放の責任所在はどうなるのか、学童クラブ父母会の活発化が必要である等のご意見をいただいた。また、現行の小学校4年生までの保育を3年生までにするのはやめてほしいというご意見があった。
安藤委員	学童クラブのように毎日めんどうを見てくれるのか、という心配があるのだと思う。
有澤副委員長	「遊びの学校」事業は、学童クラブより一歩進んだ考え方である。また、小学校4年生くらいになると学童クラブに登録していても、実際にはあまり通っていない状況もあるのではないか。
森田委員長	移行期の不安について説明を加える必要があるかどうか、検討させていただく。
	障害のある子どもへの対応について
森田委員長	障害児による社会参加の機会の充実、障害児施策の策定過程の情報公開、障害児保育の充実等を求めるご意見をいただいた。 (仮称)こどもの総合支援センターの機能については、専門家や利用者を委員として入れた委員会で検討し、実施計画づくりを進めることを提案する。
本間委員	小学生になっても(仮称)こどもの総合支援センターに通うことはできるか。
古荘委員	(仮称)こどもの総合支援センター構想に対象年齢を明示してほしい。
森田委員長	(仮称)こどもの総合支援センター構想(案)では、対象を「子ども」としている。具体的な年齢を入れると、年齢制限があると思われるのではないか。
	ひとり親家庭について
森田委員長	特に父子家庭への支援が必要である、相談員には高い専門性が求められるというご意見をいただいた。
本間委員	父子家庭は収入があるため、事情を把握しづらいことが多い。ひとり親家庭ホームヘルプサービスで、ヘルパーさんを派遣してもらえる事業があることさえ知らない父親が多いのではないか。
森田委員長	ひとり親家庭については、追加調査を行わなかった。自治体によってはひとり親家庭支援のための行動計画があるが、西東京市にはそのような計画はあるか。
事務局 (富田課長)	現段階では作成していない。
森田委員長	ひとり親家庭に対する支援は、今後重要になるため、ひとり親家庭の支援に関する記述をもう一度見直したい。

発言者名	発言内容
	地域の遊び場について
森田委員長	<p>子どもたちが平日に自分の責任で自由に遊べる場所と遊具の確保、市や企業の運動場の開放、公園整備時における自然環境への配慮を求めるご意見をいただいた。プレイパークや「遊びの学校」事業によって、子どもたちが遊ぶ力をつけることが大切であると考えます。</p>
	表現方法について
森田委員長	<p>不適切であるご指摘いただいた言葉については検討させていただく。「検討」「充実」という言葉が多用されているというご意見もいただいた。「検討」「充実」は実施時期と関連している。また、要望のあった施策をできるだけ計画の中に残しておくことにしたため、「検討」「充実」という言葉が多くなってしまった。計画書の最後には、用語解説をつける。</p>
	議題3 (仮称)こどもの総合支援センター構想に対する意見募集の結果について
森田委員長	<p>障害を持つ子どもを育てている保護者等の多様な意見を取り入れられるように、専門家等による調整会を設けて(仮称)こどもの総合支援センターの具体的な事業内容を検討するように提言した一文を(仮称)こどもの総合支援センター構想に添えて、答申とすることを考えているが、いかがか。</p>
有澤副委員長	<p>(仮称)こどもの総合支援センター構想に細かいことを書き加えないほうがよいと思う。一文を添える程度がよいだろう。</p>
森田委員長	<p>答申には、(仮称)こどもの総合支援センター構想(案)への市民の皆さんからのご意見を添えないが、(仮称)こどもの総合支援センターの調整委員会には報告することにする。また、「(仮称)こどもの総合支援センター構想(案)」の「(案)」を外して、答申とする。</p>
	議題4 子育て支援計画の策定
森田委員長	<p>他の計画は検討中のものが多いので、それらとの調整の結果、子育て支援計画(案)を修正する必要がでてくるかもしれない。修正した箇所がわかるようにしておくので、答申の前に子育て支援計画の原稿案を各委員にご確認いただきたい。</p>
事務局(富田)	<p>12月初旬から12月中旬の間に再度各課調整を行う。特に、施策の実施時期については修正部分があると思われる。</p>
森田委員長	<p>今後2週間程度で計画書のタイトルを考えていただきたい。子育て支援計画書(案)の6ページに推進体制に関し、推進会議が設置されるという記述があるが、具体的にはどのようなになるか。</p>
富田課長	<p>次世代育成支援の制度のための協議会を平成17年から設置する予定である。子育て支援計画は、次世代育成支援対策行動計画と一緒に進めることになるため、平成17年度から進行管理の組織を設置する予定である。</p>
	議題5 その他
牧野部長	(挨拶)